

## 「2022年度国立台湾大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学経済学部1年 山本涼太

## ①学習成果

国際理解が最大の学習成果でした。今回留学した目的は台湾有事に対し台湾人がどう感じているのかを現地に行って確かめること、台湾人の歴史認識を理解すること、の二つでした。この二つの目的は達成できました。

プログラム内の講演を担当された先生に台湾有事について聞いてみたところ、

- 1, 習近平が合理的に行動する限り台湾有事は起こらない
- 2, 彼が合理的に行動するかわからず正直恐怖を感じている
- 3, 台湾有事が起こったらアメリカが直接台湾を防衛してくれるだろう
- 4, 中国共産党が軍事侵略でなく政治的に徐々に支配力を強める可能性は高い

と答えていただきました。また現地で何人かの学生に同じ質問をしました。同様の答えが返ってきました。

台湾人は中国に恐怖を感じながらも万が一の際はアメリカが守ってくれると考えていることが学べました。

また、歴史認識についても理解することができました。20年前までは中国大陸が台湾の一部であるとされ、教育では中国の地理や歴史が重視されていましたが、過去20年ほどで教育が変わり台湾の歴史や地理に重点が置かれるようになり、原住民に対する理解も深まっているとのことでした。今では現実主義者が増え、多様性がより重視されるようになっていることが学べました。

次の留学について、今度はもっと日本から離れた国に行きたいと考えています。台湾は文化的に日本に近いこともあり、日本での生活と似ていました。日本のコンビニやレストランを見かける機会が多く、日本語を話せる人も少なからずいたので暮らしやすかったです。しかし、次は文化的、地理的にさらに離れた国に留学してもっと文化の違いを感じたいと思います。

## ②海外での経験

海外での生活を通してより積極的に人に話しかけることができるようになったと思います。見知らぬ人にレストランや道を聞いたときに丁寧に教えてくれることが多く、すぐに仲良くなれることもあったので話しかけてみるか、人に頼るべきか迷ったときは行動してみるべきだと身をもって感じました。

## ③プログラム内容

台湾大学での中国語の授業は会話メインですぐに現地でアウトプットできたのでありがたかったです。大学の先生の授業を受ける機会やチューターの学生と関わる機会も設けられていたので自然と様々な人と話す機会ができました。

## ④進路への影響

進路に関して直接的な影響はありません。